

1 主な年齢の平均余命

令和7(2025)年簡易生命表によると、男の平均寿命(0歳の平均余命のこと。以下同じ。)は81.35年、女の平均寿命は87.33年となり、前年と比較して男は0.25年、女は0.20年上回っている。平均寿命の男女差は5.98年で、前年より0.05年縮小している。また、主な年齢の平均余命をみると、男女ともに全年齢で前年を上回っている。(表1、表2)

平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女ともに悪性新生物<腫瘍>、心疾患(高血圧性を除く)、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす方向に働いている。一方、肺炎、老衰などの死亡率の変化が平均寿命を縮める方向に働いている。(図1)

表1 主な年齢の平均余命

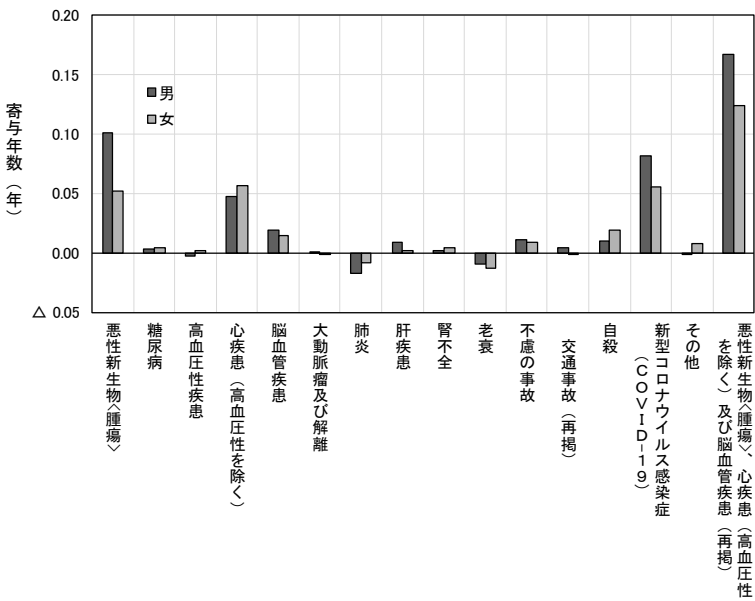
年齢	男			女		
	令和7年	令和6年	前年との差	令和7年	令和6年	前年との差
0歳	81.35	81.09	0.25	87.33	87.13	0.20
5	76.57	76.29	0.28	82.54	82.34	0.19
10	71.60	71.32	0.28	77.56	77.37	0.19
15	66.63	66.36	0.28	72.60	72.41	0.19
20	61.72	61.44	0.28	67.67	67.48	0.19
25	56.85	56.58	0.27	62.77	62.58	0.19
30	51.98	51.71	0.28	57.85	57.67	0.18
35	47.12	46.85	0.27	52.94	52.76	0.18
40	42.29	42.03	0.27	48.05	47.88	0.18
45	37.52	37.26	0.26	43.20	43.03	0.17
50	32.82	32.57	0.25	38.41	38.24	0.17
55	28.26	28.01	0.25	33.70	33.54	0.16
60	23.86	23.63	0.23	29.07	28.92	0.15
65	19.68	19.47	0.22	24.52	24.38	0.14
70	15.78	15.60	0.18	20.10	19.97	0.13
75	12.24	12.08	0.16	15.88	15.75	0.13
80	9.10	8.96	0.14	11.95	11.83	0.12
85	6.44	6.31	0.13	8.47	8.37	0.11
90	4.38	4.27	0.11	5.66	5.55	0.10

表2 平均寿命の年次推移

(単位:年)			
和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
22	79.55	86.30	6.75
27	80.75	86.99	6.24
令和2	81.56	87.71	6.15
3	81.47	87.57	6.10
4	81.05	87.09	6.03
5	81.09	87.14	6.05
6	81.09	87.13	6.03
7	81.35	87.33	5.98

注:1) 令和2年以前は完全生命表による。
2) 昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数(令和7年)



注: 交通事故は、不慮の事故の再掲である。

(単位:年)		
死因	男	女
計(前年との差)	0.25	0.20
悪性新生物<腫瘍>	0.10	0.05
糖尿病	0.00	0.00
高血圧性疾患	△ 0.00	0.00
心疾患(高血圧性を除く)	0.05	0.06
脳血管疾患	0.02	0.01
大動脈瘤及び解離	0.00	△ 0.00
肺炎	△ 0.02	△ 0.01
肝疾患	0.01	0.00
腎不全	0.00	0.00
老衰	△ 0.01	△ 0.01
不慮の事故	0.01	0.01
交通事故(再掲)	0.00	△ 0.00
自殺	0.01	0.02
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	0.08	0.06
その他	△ 0.00	0.01
悪性新生物<腫瘍>、心疾患(高血圧性を除く)及び脳血管疾患(再掲)	0.17	0.12